



市環境イメージキャラクター

## いつまでも暮らしたい 自然 歴史 風情のあるまち高梁 10月は市民環境月間です

市民の皆さんが広く「環境」についての関心と理解を深め、積極的に環境の保全および創造に関する活動を行う意欲を高めるため、毎年10月を「高梁市民環境月間」に制定しています。市内でいろいろなイベントが開催されます。いろいろな体験をして、環境について考えてみませんか？

■問い合わせ 環境課環境政策係 ☎(21)0259



私たちの命と生活を支えてくれる高梁川。いつまでも美しい自然を長く後世に伝えるために実施します。

- ◆開催日 10月20日(日) ※少雨決行
- ◆時間 午前9時～2時間程度
- ◆場所 ききょう緑地前の川原
- ◆申し込み 10月11日(金)まで
- ◆準備物 手袋、火バサミ等
- ◆問い合わせ・申し込み 社会教育課 ☎(21)1514、環境課 ☎(21)0259

### 美しい自然を守ろう 高梁川流域クリーン大作戦2013



秋の森を楽しみながら野生のキノコを採取、その後はキノコ鑑定会を通じて自然を楽しみ学びます。

- ◆開催日・場所 10月5日(土) 宇治地域市民センター  
10月12日(土) 高梁美しい森(松山)
- ◆時間 午前9時～午後0時30分
- ◆参加費 3000円
- ◆問い合わせ・申し込み NPO法人フォレストフォーピープル岡山 ☎(21)1000

### 秋の里山の恵みを見つけよう キノコ・ウォッチング



廃棄物の不法投棄やダイオキシン類の発生、埋立処分場不足の問題、さらには地球温暖化などのさまざまな環境問題に関する学習会を開催します。

- ◆開催日 10月30日(休)
- ◆時間 午前6時～午後5時15分
- ◆場所 直島環境センター(香川県直島町)
- ◆申し込み 10月10日(休)まで・先着25人
- ◆問い合わせ・申し込み 環境課 ☎(21)0259

### 廃棄物について学ぼう 廃棄物学習会



エコライフ(環境にやさしい生活)をテーマに「環境フェア」を開催。フリーマーケット、各種団体の環境活動を紹介する展示コーナー、電気自動車試乗体験、太陽光発電なんでも相談、省エネ相談、地産地消地元食材の販売など。

- ◆開催日 10月26日(土)
- ◆時間 午前10時～午後3時
- ◆会場 朝霧温泉ゆらら駐車場
- ◆問い合わせ 市環境衛生協議会(環境課内) ☎(21)0259

### 環境についてみんなで考えよう 環境フェアinたかはし2013



## 大切な命 あなたなら守れます 秋の交通安全県民運動

9月21日(土)から9月30日(月)までの10日間、平成25年度秋の交通安全県民運動が県下一斉に展開されます。ドライバーはもちろん、すべての人が交通事故を起こさない、また交通事故に遭わないように安全な行動を心がけましょう。

■問い合わせ 市交通安全対策協議会(市民課内) ☎(21)0254

「いそぐほど きけんは近くに やってくる」

(平成25年度秋の交通安全県民運動スローガン)

- ◆最重点目標 子どもと高齢者の交通事故防止
- ◆重点目標
  - ・夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止
  - ・すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
  - ・飲酒運転の根絶



## あなたと家族の命を守るため 住宅用火災警報器の設置を

住宅火災による死者を減らすため、「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。

市は、住宅用火災警報器のさらなる普及のため、購入・設置した人に補助金を交付しています。

■問い合わせ 消防本部警防課 ☎(21)0124

- ◆申請方法 申請書に必要事項を記入・押印し、領収書の写しを添付して消防本部警防課まで提出してください。(郵送可)
- ※申請書は、指定販売店、消防本部警防課へ備えています。また、市ホームページからもダウンロードできます。



- ◆給付要件 市内の住宅・アパート・賃家等に設置するもので、市内の指定登録販売店で購入(設置)したもの
- ◆補助金額(設置費含む)
  - ①連動型の場合…半額補助 ※上限3万円(ただし、3世帯同居世帯は、上限6万円)
  - ②単独型の場合…1台につき千円の補助
- ◆取り付け位置 左図参照 ①寝室、②寝室に使用している階の階段上部の天井または壁(※寝室が2階以上にある場合)

住宅用火災警報器を設置した住宅では、市内はもとより全国各地で多くの奏功事例が報告されています。

### 【奏功事例】

- ・他の部屋で発生した火災を連動型の住宅用火災警報器によって住人が気づき、一部屋のみ焼損に止まった。
- ・てんぷら油を加熱したまま放置し、住宅用火災警報器の音で思いだし火災に至らなかった。
- ・就寝中、住宅用火災警報器の音に気づき、他の家族に知らせるなど、早期に避難することができた。

